

～ 里親セミナー 2022・10・30 ～ 里親養育のあり方を考えるー私の経験から

- 受託から真実告知を考える
- 里親家庭における養育児童にかかる虐待等アンケートから



公益財団法人全国里親会

会長 河内 美舟



里親が育てる。
社会が支える。

プロフィール

主な役職

公益財団法人全国里親会 会長

一般財団法人山口県里親会 会長、中部支部里親会 支部長、美祢地区里親会 会長

社会福祉法人同朋福祉会 理事長 & ともの園ケアグループ 総合園長

養育里親登録～昭和53年4月1日

専門里親登録～平成18年3月23日

ともの園ケアグループ事業運営

高齢福祉事業：特別養護老人ホーム2・特定施設生活介護&介護予防施設（ケアハウス1・有料老人ホーム2）・認知症グループホーム2・小規模多機能事業所1・デイサービス・短期入所事業2

障害福祉事業：障害者支援施設（生活介護・入所支援・日中一次支援事業）・就労支援B型事業・就労支援継続雇用A型事業グループホーム9ホーム・総合相談支援センター・ぱん工房

児童福祉事業：放課後等デイサービス2・認可保育所・児童虐待防止相談支援センター

地域医療事業：診療所・クリニック

Others

：僻地保育所創設運営から、わが国初ベトナム難民児童3名を含む里子4名を実子3名を養育・ファミリーホームの子どもたちを養育。障害支援区分認定審査委員長・専門里親・本願寺派教師・保育士・幼稚園教諭2種・養護学校教諭1種免許。

著書：七人のこどもと（条例出版）・ただいま8人（ベネッセ）・ビエット君（ミネルヴァ書房）・愛いっぱい（ミネルヴァ書房）・てつなぎの詩（議事録センター）・心はいつも明日へ（樹心社）・がんばれティエンくん（同朋社）・童話わらった泣き虫（四季出版）・山口新聞「がんばれティエンくん」160回連載・朝日新聞夏季保育大学講演。

【里親養育のあり方を考えるー私の経験から】

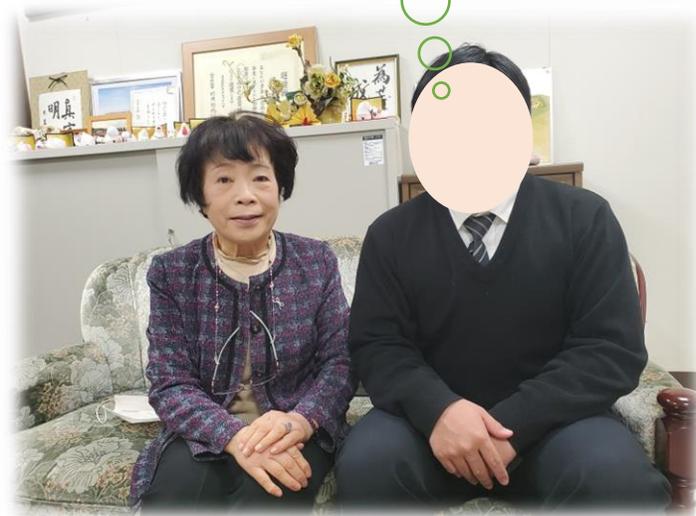
- わが親にまさる親あらめやも
- 家庭的養育から親子関係再構築への理解
- 受託から真実告知を考える
- 虐待問題グラデーション、どこからどこまで
里親子への目線～

●わが親にまさる親あらめやも ●家庭的養育から親子関係再構築への理解

受託から3年後、就職前家族再統合迎えに
来たご両親と初めて終わりの出会い
我が子の逞しさに唯、頷かれ・・・
～ 養育者感無量 ～



措置解除後、来訪の
A君・社会人一步の
今、ご両親に仕送りを



十億の人に十億の母有れど
我が母にまさる母あらめやも
九条武子

●地域に開かれた里親養育 ～安心安全な家庭生活&地域のくらし自然体へ



地域を知るふれあい交流&里親里子レク



両親見学の運動会・
児童代表のA君
胸張って開会の挨拶



●地域に開かれた里親養育 ～安心安全な家庭生活&地域のくらし自然体へ

- ・ 沢山の方々の見守りと声かけ
- ・ そして日々のエール
- ・ ちょっとした関わり
- ・ 笑顔の挨拶こどもの育ちを知る



A
君



中学から高校進学・そして、航空自衛隊員のA君。上官と来訪し笑顔の敬礼挨拶

● 受託から真実告知を考える

◎ 容認と見守り中から

◎ 受託時の状況・受託児童の背景と環境から

✿ 幼児期に

✿ 受託から真実告知

✿ こどもの成長期の節目に

✿ それとなく何となくさりげなく

✿ 特別養子縁組の前に

✿ こどもの自立・社会に巣立つ前に

お母さんも（わたしも）二つの名前があるよ
いろいろな処で名前が変わることもある

● 受託から真実告知を考える



里子・里親さんや多くの皆さん
に祝福されて結婚式披露宴
日本語であいさつ
ビエット（河内）とベトナム人
新婦～国際結婚**真実告知**

2人の12歳のベトナム難民児
ISSJ介入にて迎え里子に一人
～NTT社員・日本人に帰化
言葉と生活の壁越えて、
逆真実告知・・・



左から実母・ビエット・〇



昭和56年12歳ベトナム戦争で父
を亡くし母が乗せてくれた難民船
で漂流・・・あれからず～っと逢
えなかつ母マイさんと再会。これ
から日本人帰化の決心!!
マイさん涙の中に「世界の何処に
いても元気で生きていける」と一
言。18歳高校卒業



受託から真実告知を考える

A君の場合

こどもの居場所
どこにでもある
～地域・社会的資源～

得度・僧侶
電気工事関係
訪問介護員
介護福祉士
資格取得

通信教育～
大学4年卒

生後1カ月～
2歳乳児院

2歳～4
歳児童養
護施設

4歳3か月～
18歳6ヶ月
里親我が家に

会社就職～
電気工事～
福祉施設介護職

施設福祉士取得
生活介護老人ホーム
施設長就任・社会福
祉法人業務執行理事

真実告知
第1段階：4歳3ヶ月
第2段階：小学1年生
第3段階：小学6年卒業
第4段階：18歳誕生日
～
特別養子縁組申請・実母の
逝去通知&入籍謄本から過
去の謄本見知・母子手帳渡
第5段階：結婚

～ 真実告知 ～
特別養子縁組解除
パートナー
→ 結婚
4人の子ども達を
大切に厳しくやさ
しい父親



令和3年度 里親家庭における養育児童に かかる虐待等アンケートから

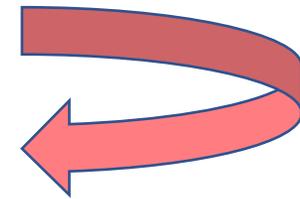
(令和3年11月28日起点)



公益財団法人全国里親会

地域的に・社会的に里親家庭養育にエールを

- 虐待問題グラデーション、どこからどこまで
里親子への目線～
- 躰の意味合い・どこからどこまでライン～
里親の立ち位置に悩み考えられるもの
- 里親家庭養育にエールをこめてアンケート





公益財団法人全国里親会体制

令和4年4月1日現在



理事役員会 理事10名・監事2名・顧問1名

評議員会 評議員 5名

- ～ 委員会 ～
- * 里親委託等推進委員会 (相談支援業務含む)
 - * 業務運営委員会
 - * 広報委員会

公益財団法人
全国里親会本部

全国里親会ブロック長会
全国8ブロック各代表
(年2回開催)

北海道地区ブロック
東北地区ブロック
関東甲信越静ブロック
東海北陸地区ブロック
近畿地区ブロック
中国地区ブロック
四国地区ブロック
九州地区ブロック

全国の里親・里子さん



各里親会

都道府県政令都市里親会
年2回会長会議・会長研修開催

① 虐待を受けた子どもや様々な体験をしてきた子どもを里子として委託・受け入れた時の苦労したこと、その時に必要だった支援。

【苦労したこと】（抜粋）

- 子どもの態度に対して、自分自身の怒りの感情が出てしまう。
- 試し行動、気に入らないと大声で泣く、逃げる、噛みつく等に対する対応。
- 子どもがトラブルを起こした時の学校からの連絡と相手の親への謝罪等の対応。
- 暴力や物に当たる事で表現する子を落ち着かせるまで時間やエネルギーがかかること、他の子に危害が及ばないように守らなければならないこと。
- 小さい児童だと生活に慣れるまで癇癪を起こすなどあり大変。
- 実子や他委託中の里子への影響
- 執拗な反抗的行動、暴言・盗み・他児童への暴力、だんまりなどの反応
- 徒労感・いらだち、腹立ち・無力感・これらに対する自分のストレス反応
- 対人関係が苦手、環境の変化に弱い。

① 虐待を受けた子どもや様々な体験をしてきた子どもを里子として委託・受け入れた時の苦労したこと、その時に必要だった支援 **（前記続き）**

① **【必要な支援】**（抜粋）

被虐待児等の受け入れ時の苦労	件数	%	受入時必要だった支援	件数	%
子どもの行動への対応	23	46	相談機関・支援機関	24	45
里親の感情のコントロール	10	20	知識・研修	15	28
他の子どもへの影響	7	14	医療	6	11
他者（学校等）への対応	5	10	情報交換	5	9
情報不足	2	4	その他	3	6
その他	3	6			
合計	50	100	合計	53	99

② あなたが見聞きした里親家庭における「これって虐待なのでは」と感じた言葉や対応について事例があれば具体的にお書きください。 (次へ続く)

【虐待を疑う事例】 (抜粋)

- 実子と里子の身なり等の差別が見られる。
- 言葉の暴力で児童に心理的な苦痛を与えている
- 子どもから挑発してくる態度や言動に対して、里親がどう対応するかが問題化する
- 子どもの権利侵害になることについては、虐待へ方向が向くのではないかと考える。
- 問題行動に対し、部屋への閉じ込め
- 言うことを聞かなければ、食事はなし
- 「溺愛（できあい）」終日子どもを拘束。
- 食事を食べない、または残すからと、食事の量の制限（量が少ない）や提供しない。
- 受託児童と合意したとして、罰として恒常的に家事手伝いを無償でさせている。
- 受託児童と合意したとして、アルバイト収入のある児童へのお小遣いを停止する。
- 受託児童と合意したとして、実親や児相の了解なく、児童手当など児童の預貯金を生活費に充当するケース。
- 養子縁組里親さんで里子に真実の告知をしない。
- 里親から これをしてやった。あれをしてやった 等の子どもに貸しを作るような発言。

② あなたが見聞きした里親家庭における「これって虐待なのでは…」と感じた言葉や対応についての事例があれば具体的にお書きください。

(前記続き)

② 【その対応】 (抜粋)

- 我流の養育で悪いことをしたら体罰を与えるというベテランの里親さん。
- 里子達の様子を兎相だけでなく、第三者に関わってみて貰うことも大切。
- 里親のしんどい気持ちを受け止めてくれる人が必要。
- 児童相談所（職員）とのきめ細やかな関係作りや情報提供。
- おかしいと思ったときは行政の方にすぐに相談している。
- 里親の苦労もわかるが、里親子の納得する言葉で説得する必要がある。
- 里子達の様子を兎相だけでなく、第三者に関わってみて貰うことも大切である。
- 身近で虐待や不適切対応を疑うような対応を見聞きしたことはない。

② あなたが見聞きした里親家庭における「これって虐待なのでは…」と感じた言葉や対応についての事例があれば具体的にお書きください。（前記続き）

②【その対応】（抜粋）

虐待を疑う事柄	件数	%	その対応	件数	%
感情的な言葉・暴言	13	35	児童相談所・行政へ通告	1	25
里親の表情や態度	6	16	里親会・サロン参	1	25
里子の行動制限	6	16	助言	1	25
叩く・体罰	3	8	その他	1	25
金銭に関する制限	3	8			
食事制限	2	5			
実子と里子の差別	2	5			
真実告知をしない	1	3			
実家庭への批判	1	3			
合計	37	90	合計	4	100

③ 里親家庭での虐待を防止するために何か里親会としてどのような対策をしていますか。また、虐待防止のために何が必要と考えますか。

(次へ続く)

【虐待防止対策】 (抜粋)

- 月1回のサロン開設。 • 定期的に子育て講座を開催
- 行政と里親会との連携で、話を聞いて欲しい里親に対しベテラン里親が傾聴を主とした支援を行う『里親メンター』という活動をしている。
- 里親の養育スキルを身に着ける子育てスキルなどの講座を実施。
- SOSでは遅い。すぐにヘルプを求めること』を常日頃からすすめている。
- 児童福祉司、里親支援専門相談員の訪問を通じて里親家庭での問題点について普段から状況把握。必要に応じて保健師、心理司等と同行訪問を行い、里親、里子の互いの相談指導。
- 児童の心理検査や親子でのメンタルトレーニングを行う。
- 児童相談所や里親会主催のサロン、外部団体のサロン、研修会の開催や案内。
- 里親レクリエーションで、気持ちのリフレッシュをする。

③ 里親家庭での虐待を防止するために何か里親会としてどのような対策をしていますか。また、虐待防止のために何が必要と考えますか。 (前記続き)

【虐待防止のために必要なこと】 (抜粋)

- 里親サロンを活性化し、情報共有、情報交換をする。
- 里親同士の繋がりを強化し、個人的に相談し合える関係をつくる。
- 児童が相談できるよう定期的に児相と面接すること。
- 気軽に相談できる窓口が必要。
- 里親が参加しやすい時間、形での子育て講座の開催。(夜オンライン等)
- ユーチューブ、SNS等を活用した情報の提供と、その徹底した広報による周知。
- 週末、夜間にもつながる相談ホットライン。
- 今後は年に1回以上の虐待防止研修が必要。
- 孤独にさず、情報提供や研修会を続けていくこと。
- 何ををもって虐待であるか、どこからが虐待であるか など、具体的な事例集のような冊子等での周知のほか、児相等による定期的な家庭訪問の強化。
- 里親どうし交流だけでなく、里子同志の交流も大事。
- 里親家庭が、児童相談所や里親関係機関と連携を取り、オープンな養育をする。

③ 里親家庭での虐待を防止するために何か里親会としてどのような対策をしていますか。また、虐待防止のために何が必要と考えますか。 (前記続き)

③

虐待防止のための里親会対策	件数	%	虐待防止に必要なこと	件数	%
特にない	2	66	里親会活動・サロン活動	28	28
サロン	1	33	教育・研修	24	24
			相 談	16	16
			児童相談所・関係機関と関係	9	9
			情報共有・交換	9	9
			コミュニケーション	7	7
			システムづくり	4	4
			そ の 他	3	3
合 計	3	99	合 計	100	100

④ 里親家庭における養育児童の暴力・暴言・言葉やスマホ等による悪評拡散や通報被害などの被害を被った場合の対処についてお書き下さい。また、その際の児童相談所及び関係機関との関係についてご意見があれば具体的にお書きください。
(次へ続く)

【暴力暴言悪評拡散や通報被害の対処】 (抜粋)

- 今の時代は、スマホやSNSは切っても切れない。持たせる前にきちんとした知識、ルールをもって渡す。
- 被害を受けたと感じた時は、速やかに児童相談所等に相談する。
- 暴力など、身に危険が及んだ場合は、即警察と児相に連絡。
- 「里親家庭支援相談員」や「里親相談員」に相談して、児童相談所へ繋いでもらう。里親だけで解決しようとしなない。
- 養育環境や医療受診、心理ケア等、養育児童を支える新たな環境整備が必要
- 里親と弁護士（司法関係）等の連携。
- 問題行動に至った当該児童の思いや希望を汲み取り、問題行動の原因を除去する。
- 児童の行動や状態を記録に取り、児童相談所や学校、警察等との対応に役立てる。
- 暴力に至るスイッチを予測。刺激になるものを除き生活力をつけて暴力を未然に防ぐ。
- 子供の行為を受け止め、会話を通して話し合う機会を増やしていく。

④ 里親家庭における養育児童の暴力・暴言・言葉やスマホ等による悪評拡散や通報被害などの被害を被った場合の対処についてお書き下さい。
また、その際の児童相談所及び関係機関との関係についてご意見があれば具体的にお書きください。
(前記続き)

【児相や関係機関との関係について】 (抜粋)

- 定期的に子どもと面談を取ってもらい、アボゲイトになって頂けると有難い。
- 子ども相談所の担当者が人事異動で変わることなく里親、里子達と信頼関係を築きがオープンに話せる環境が必要。思春期の子どもは信頼関係を築けそうでも担当が変わると「どうせ大人は分かってくれない。話しても無駄」と心を開かない。
- 児童相談所の担当者で連絡を取る場合、まず児童相談所に連絡して取り次いでもらうので、不在の場合等、即座に連絡を取る事が叶わない場合も多いので、専用の端末を携帯するか、専用のSNSを採用する等で、すぐに連絡を取れる体制を強化されたい。
- 問題行動を把握した場合、とりあえず児相の子担当に一報を入れる。
- ネット拡散の削除依頼などを里親に負担させるのは酷。児相などで対応してほしい。
- この手の問題の相談や対処は行政にはなかなか言えない。児童心理士、弁護士などに協力していただいての民間の専門的な相談先を用意することが今後必要だと思う。協力していただいての民間の専門的な相談先を用意することが今後必要だと思う。
- 常に児相、学校、里親支援専門相談員との連携がとれるよう努める

④ 里親家庭における養育児童の暴力・暴言・言葉やスマホ等による悪評拡散や通報被害などの被害を被った場合の対処についてお書き下さい。
 また、その際の児童相談所及び関係機関との関係についてご意見があれば具体的にお書きください。
 (前記続き)

④ 暴力暴言悪評拡散・通報被害対処	件数	%	児相や関係機関との関係	件数	%
オープンな環境・情報の整備	7	25	保護場所確保・関係機関連携	11	26
里親だけでは出来ない	7	25	連絡体制整備・情報の共有	9	21
受託の際にルールを説	5	19	児童相談所による面談	8	19
関係機関に通報	5	19	児相との間で原則を作る	5	12
教育の確保	3	11	里親里子の言い分を聞く	5	12
			そ の 他	4	10
合 計	27	99	合 計	42	100

里親家庭支援のおすびに・・・虐待等アンケートから

「愛しい子どもたちを養育してきて里親さんの誰かが思ってきたこと・感じたこと・悩んだこと・いつの日か判ってもらえることを期待し続けて、何度も立ち止まってため息も出たこともあったでしょう。

子どもが反社会的・非社会的行動らしき状況になった時、虐待もどき・取沙汰・思い込み等々の実態の途となるのではないのでしょうか？

今日の社会状況から里親さんが養育に頑張りすぎて疲弊することも多々あるようです。

そうして、誰にも相談できず自問自答もしたこれまでが懐かしくなることも・・・

『里親』となって子育ての喜びを頂いて幸せの日々に生かされて生きていくことを夢見て子どもたちに大きな期待感に浸ったこともありました。この度のアンケートを通して、里親さんの思いをみなさまと共感させて頂いているように思います。

ご清聴ありがとうございました